地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2017
11月
No.42

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

［院内専門センターのご案内］

腎透析センター「抜群のチームワークで安心かつ安全な透析医療を提供します！」

［AGMC委員会・部会めぐり］ NST委員会

●［AGMCニュース No.1］「胃・食道外科外来」はじめました ～より緻密な手術を目指して～
●［AGMCニュース No.2］研修医に選ばれる病院をめざして
●スタッフのつぶやき　●ぶらり～っと病院探訪

腎透析センター

抜群のチームワークで安心かつ安全な透析医療を提供します！

院内専門センターのご案内
複数の診療科・部門を一つにまとめ、診療機能を統合させた当院の《センター》をご紹介します。

腎透析センターの特徴

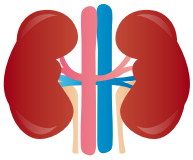
5階の屋上庭園に面して存在する当センターは広々としたワンフロアで、2面に広がる解放感あふれる大きな窓からは緑の木々や街並みが楽しめます。18床ある透析ベッドの間隔は1メートルと広くとっており、明るい空間でゆったりと透析の時間を過ごせるよう工夫しています。また、感染症などの病状に対応できるよう、個室の透析ベッドを2床有しています。
腎透析センター内にある各診察室では、腹膜透析外来やシャント外来に加えて、これから透析療法を必要とする患者さんへの腎代替療法説明外来も行っており、腎不全の患者さんをトータルでサポートできるような体制を整えています。

教育部長
腎臓内科長
透析センター長
竹岡 浩也

透析センター
看護師長
岡　香里

臨床工学技士
木場 貴子

- 日本透析医学会専門医・指導医
- 日本腎臓学会専門医・指導医
- 日本高血圧学会指導医
- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本老年医学会専門医・指導医
- 初期臨床研修プログラム責任者
- 京都大学臨床教授、徳島大学臨床教授



腎透析センター　集合写真

2016年の診療実績

- のべ血液透析数：4287件（うち出張19件）
- 血液透析導入数：96名
- その他の
  血液浄化療法：LDLアフェレーシス75件
  血漿交換55件（うち出張18件）
  顆粒球吸着49件、血漿吸着15件
  エンドトキシン吸着5件
- 末梢血幹細胞採取：18件
- シャント関連手術：144件
- シャントPTA：185件
- 腹膜透析人数：7名

診療体制と診療内容

経験豊かな腎臓内科医師9名（うち透析指導医2名、専門医1名）、看護師、臨床工学技士が密接に連携して、入院患者さんの血液透析を行っています。血液透析以外にも、消化器疾患や自己免疫疾患などに対する血液浄化療法や、高度急性期病院で必要とされる各種の急性血液浄化療法も数多く行っており、場合によっては腎透析センターのスタッフがICUへ出張して対応しています。シャント診察室では週5日のシャント外来を行っており、入院患者さんのシャントトラブルだけではなく、近隣の透析クリニックからの紹介にも迅速に対応できるようにしています。手術室やアンギオ室との連携のもと、早ければ受診当日にPTAや手術を行っています。

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

地域の中核病院として、透析療法を必要とする患者さんが質の高い医療を安心して受けていただけるよう、スタッフ一人ひとりが専門意識をもって日々努めております。患者さんに「ここで治療をうけてよかった」と思っていただける腎透析センターを目指しています。

NST委員長／糖尿病・内分泌内科部長
中村 嘉夫

AGMC 尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center

委員会・部会めぐり

－豊かな医療を育むための協議－

適切な運営および安全な医療提供を行うために、
多職種で運営されている院内委員会・部会です。

NST委員会

チームが一致団結して、患者さんに最も適した栄養管理を実践します

NST（栄養サポートチーム）とは？

NSTはNutrition Support Teamの略称です。栄養管理は全ての医療の基本となります。NSTでは、栄養管理が個別に必要な患者さんに対して、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、臨床検査技師などの専門スタッフが、職種や診療科間の垣根を越えてチームを組み、最良の方法で栄養支援を行います。

《構成メンバー》計39名

- 診療部（ER総合診療科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、消化器外科、心臓血管外科、皮膚科、麻酔科、歯科口腔外科、小児科、救急集中治療科、小児救急集中治療科）
- 看護部
- 薬剤部
- 栄養管理部
- リハビリテーション部
- 検査部

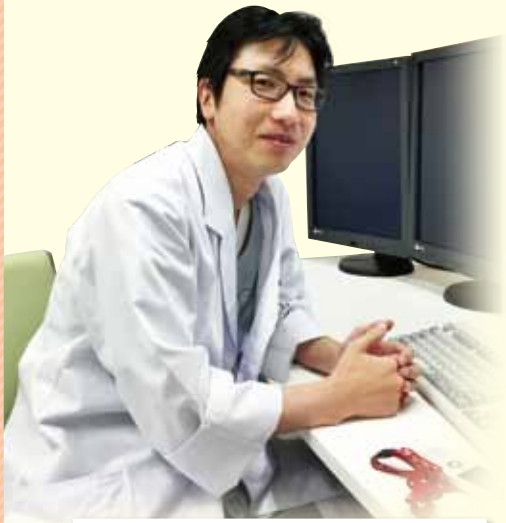
NST委員会メンバー

活動内容・取り組み

- NSTカンファレンスおよび回診は週3回実施しています。栄養状態についてアセスメント（評価）を行い、栄養状態を改善していくための栄養計画を検討・立案し、主治医に提案しています。

NSTカンファレンス

NSTラウンド



消化器センター／消化器外科

「胃・食道外科外来」はじめました

AGMC ニュース No.1

～より緻密な手術を目指して～

消化器センター／消化器外科　川田 洋憲

10月より新たに胃がんおよび食道がんをはじめとした上部消化管の低侵襲手術を専門とした、「胃・食道外科外来」を開設しました。

腹腔鏡手術は、「傷が小さい」ことで、整容性に優れ、術後の痛みが軽減されることはもちろん、腹腔鏡を体の奥深くまで挿入し、細かな繊維や血管を大きなモニターに映し出すことで得られる拡大視効果によって、「より緻密な」手術が可能となります。それによって、出血や臓器損傷を減らし、より低侵襲かつ根治性においても優れた手術が可能となると考えています。

胃がんにおいては、へそに開けた2.5cmの切開創のみから行う、究極の低侵襲手術とも言える単孔式腹腔鏡手術にも取り組んでいます。

食道がんの手術は頸、胸、腹の3領域に渡る最も侵襲の激しい手術の一つですが、胸部は胸腔鏡で、腹部は腹腔鏡で行うことで、術後の回復を劇的に早めることが可能となります。

今後も質の高い治療を提供できるよう努めて参ります。

単孔式腹腔鏡下胃切除術後の創

AGMC ニュース No.2

研修医に選ばれる病院をめざして

来年度も多くの研修医が、県立尼崎総合医療センターに赴任します！

おかげさまで、当センターは、今年も、24名の初期研修医を迎え入れることができました。

では、いったいどうのようにして、研修医の皆さんは、ここに就職したのでしょうか？

実は、医師にも、他の職業と同じく、就活があります。現在、医学部を卒業し、医師免許を取得した医師は、臨床研修を受けることが定められています。大学病院や当センターのような臨床研修病院が、全国におよそ1000か所あり、毎年約9000名の研修医が、その中から研修先を選びます。選択に際し、研修病院の合同説明会、ネット情報、口コミ、先輩の体験談などをもとに、自分が行きたい病院をしぼっていきます。そして、希望病院への見学や説明会に参加し、ここだと思う病院を決めます。最終的には、研修希望者と研修病院のお互いの希望をふまえて、研修先が決定します。

来年も当センターは24名の研修医を募集していますが、先日、各病院への希望者数の発表（医師臨床研修マッチング）があり、当センターには、39名の医学部6年生の応募がありました。この数は、大学病院を除く、全国900の臨床研修病院の中で、なんと12位（!!）でした（西日本では1位）。この結果は、ここの研修内容が、学生さんに評価されているものとうれしく思っております。

当センターでは、引き続き、研修医に選ばれる病院をめざし、研修内容の検討・変更などを日々行っております。そのような病院であり続けるためには、我々医療者だけでなく、彼彼女らに対する、皆様方のさらなる、あたたかい見守りやご助力が必要です。ぜひとも、ご協力よろしくお願いいたします。

スタッフのつぶやき

職員さん対象の事務手続きに日々奮闘！

給与管理課　大野 和樹

こんにちは！

尼崎総合医療センターの“給与管理課”という部署で勤務している事務職員です。病院の事務と聞くと、会計窓口を想像する方が多いと思いますが、病院にも“総務課”や“経理課”といった、主に職員さんを対象に事務手続きをする部署があります。

その中の“給与管理課”は、部署名のとおり、職員さんの給与の計算・支給が主な業務であり、毎月約2,000人の給与手当額の計算に奮闘しています。しかし、給料のことだけではなく、実は職員さんの労災申請や健康診断にかかる手続き、他にも広報関係の仕事もしており、単調な仕事だけではないので退屈しません！

私たちが直接医療を提供することはできませんが、医療現場で働く職員さんが少しでも快適に勤務できるよう、これからも事務面から全力でサポートしていきます！

ぶらり～っと病院探訪

ゆずりあい駐車エリアってご存知ですか？

ちょっと患者さんに優しい病院駐車場

地下駐車場と立体駐車場

今回は、皆さんもご利用している地下駐車場と立体駐車場を訪ねてみました。

まずは地下駐車場ですが、病院内から地下に降りるとすぐにグリーンのラインが目の前に現れました。そのラインを辿っていくと駐車場の中央スペースへの入り口に大きく「ゆずりあい駐車エリア」の文字が！！今年の9月からオープンした「ゆずりあい駐車エリア」を私は初めて目にしましたが、事前に知らなければわかりにくい…と感じました（当広報誌9月号のAGMCニュースを参照）。しかし、2名の警備員がエリアの説明・誘導を丁寧に行っており、初めての方でもスムーズに利用できる体制になっていました。

続いて立体駐車場ですが、こちらは収容台数が約420台と、とにかく大きいというのが第一印象。中に入り観察してみると、駐車スペースの車幅は広いような印象を受けました。エレベーターも備えており、駐車した後の移動もスムーズに行えます。探訪した日は天気も良く、立体駐車場の最上階は非常に気持ちが良かったです。

二つの駐車場を探訪してきましたが、どちらも警備員の誘導があることやエレベーターが備えられているなど、どなたでも利用しやすいように配慮されていました。

編集後記

2014年6月に創刊された“あまが咲だより”も40号を突破しました。凄いですね～。我ながらよくネタが尽きないなと思いますが、それだけ大きな病院になったということでしょうか。本誌の内容は、各部署から抜擢された広報委員が知恵を絞ってウンウン言いながら、毎月の広報委員会で2、3号先までを決めています。実は病院の中は日々進化していますから、これからも新しいことを目敏く見つけて魅力ある紙面作りを心がけたいものです。（N.O.）

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000（病院代表）　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社